

施策マネジメントシート ～令和2年度の振り返りから令和3年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）

（5月中に記入）

長期振興計画 の位置づけ	まちづくり分野	ひと分野	担当課		社会教育課			
	政策分野	文化・スポーツ	課長名		沖田純一郎・中里千秋			
	施策	17 芸術文化・文化財保護の充実		重点施策の該当	R2	-	R3	-
施策の目的	対象	市民、文化財		意図	郷土に誇りと愛着を持ち、豊かな心を育むことができる			

施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時	指標の推移				最終目標値
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和1年度実績値	令和2年度目標値	令和3年度目標値
郷土の文化財に愛着・誇りを持っている人の割合(%)	62.1	61.2	65.1	63.6	62.7 (71.0)	72.0
地域の伝統行事や文化事業を観覧した人の割合(%)	42.8	39.6	53.0	46.8	23.3 (60.0)	60.0

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		令和1年度実績		令和2年度実績		令和3年度実績	
重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)
66.2	33	69.2	33.4	65.7	32.6	64.3	28.2		
重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI
60.5	22.8	65.7	23.6	59.9	21.6	58.2	15.6		

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連 戦略 No.	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移					最終目標値
			28年度実績	29年度実績	30年度実績	1年度実績値	2年度実績値		3年度目標値
芸術・文化活動の推進		芸術文化に親しみを感じている人の割合(%)	28.8	33.8	34.7	32.7	28.7 (37.0)		40.0
芸術・文化活動の推進		文化月間(11月)中のイベント参加者数(人)	1,500	1,761	4,597	1,789	0 (1,800)		1,800
文化財保護の充実・活用		文化財指定・登録・選択件数(件)	68	69	73	75	76 (76)		77
文化財保護の充実・活用		郷土の文化財に愛着・誇りを持っている人の割合(%)	62.1	61.2	65.1	63.6	62.7 (71.0)		72.0
文化財保護の充実・活用		郷土の文化財の保存・保護が大切と思う人の割合(%)	88.5	88.6	89.6	90.0	89.0 (89.5)		90.0
伝統文化・民俗芸能の保存と活用	8-17 13-32	地域の伝統行事や文化事業を観覧した人の割合(%)	42.8	39.6	53.0	46.8	23.3 (60.0)		60.0
伝統文化・民俗芸能の保存と活用		郷土芸能公開団体数(件)	8	11	11	15	4 (14)		14

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
[社会教育課] 基本事業No.59	・文化活動の中心母体である市文化協会は、文化協会員が主体となって運営しているが、少子高齢化等も相まって会員数が減少傾向にある。 ・芸術文化に親しみを感じている人の割合が低率であり関心が薄いことが伺える。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、市民文化祭をはじめ自主文化事業や芸術文化事業が実施できなかった。
[社会教育課(文化財)] 基本事業No.60・61	・昨年度に引き続き、文化財保存活用地域計画の策定に向け、市史編さん事業と連携して調査を行った。 ・特に重要とされる文化財については、新たに調査を行った。(種子島家墓地、旧上妻家住宅、上妻家文書・史料、メヒルギ、ヘゴ、馬毛島葉山王籠遺跡等) ・文化財所有者の高齢化・世代交代による後継者不在により、維持管理が困難な状況にある文化財に対して、保存管理に対する調査・協議を行った。 ・文化財の記録保存の充実を図るため、新たな技術の習得に努めた。 ・コロナ禍で、外部の講師を招聘しての文化財専門調査や各地域での民俗芸能の公開が中止となるケースが多かった。

施策マネジメントシート ～令和2年度の振り返りから令和3年度の実現へ～

施策の成果（貢献度の高い事業等）と現状・課題		
	成果	現状・課題
[社会教育課] 基本事業No.59	・文化活動の中心母体である西之表市文化協会（加盟32団体、会員数434人）が主体となって運営している市民文化祭は、新型コロナウイルス感染症対策により、中止の決定がなされた。また、中種子町で開催予定であった第46回熊毛地区広域文化祭についても、中止の決定がなされた。 ・自主文化事業や芸術文化事業は、演者が島外（感染拡大地域）からの来島となることから、往來の自粛等もあり実施することができなかった。	・1市3町で持回り実施する地区広域文化祭の在り方について引き続き、検討していく。 ・自主文化公演事業については、市民のニーズを考慮しながら予算の範囲内で招聘できるものを開催している。また、文化庁主催による巡回公演は、各学校のニーズをもとに事業を組み立てている。
[社会教育課（文化財）] 基本事業No.60・61	・新たに、遠藤家住宅主屋が国登録文化財となり、郷土の宝として保存保護し、活用が図られることになった。 ・市史編さん事業と連携し専門的な調査を行いながら、文化財の把握に取り組んだ。 ・整理調査を行った文化財について、その成果を一般公開し、文化財の普及啓発に努めた。（上妻家文書展、史料展等の開催） ・開発事業と埋蔵文化財の調整を図るため発掘調査を実施し、その保存保護を行った。 ・民俗芸能について、普及啓発や保存会への活動支援、専門家調査などを行ない文化財を継承する意識の醸成に努めた。	・市史編さん事業と連携して文化財の把握、調査を進めながら文化財保存活用地域計画を策定し、特に保存保護が必要なものに関しては、文化財指定を行い、一般公開や市広報誌等で普及啓発を図り、市民に文化財をより身近に感じてもらう必要がある。 ・未調査の文化財について、積極的に調査を進め、その価値づけを明らかにし、保存保護活用を図っていく。 ・所有者の維持管理が困難でその継承が危ぶまれる文化財については、支援を行ない保存保護を図っていく。 ・文化財の保存・活用を担う人材の減少に対し、新たな文化財保護の考え方を整理しながら、その保存継承の方策を検討していく必要がある。
今後の方向性	今後の方向性の根拠等（他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入）	
継続・現状維持	[社会教育課] 基本事業No.59	・自主文化公演事業については、市民グループ等に委託することで、より民意を反映した事業が展開されるのではないかとと思われる。引き続き研究していきたい。
拡大・充実	[社会教育課（文化財）] 基本事業No.60・61	・文化財保存活用地域計画の策定「令和3年度策定」、「歴史文化活用係」と連携し文化財の歴史や文化財的価値を明確化するための調査の充実 ・文化財を活かした地域づくりの推進「企画課・経済観光課との連携」、文化財保存活用拠点施設である「鉄砲館」のさらなる充実、文化財を活用した学校教育・社会教育との連携の充実 ・多様な主体「市民・行政・専門家」と連携した文化財の保存活用の仕組みを構築し、市民が郷土に対する誇りと愛着をもって暮らせるまちづくりを展開する

②-2 政策部会による振り返り（Check）
 (6月中旬に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等（将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など）
拡大・充実	【教育振興部会】 ○ 施策担当課が記載する方向性のとおり。